

田附 明夫(教授)

Akio Tazuke

農環境システム学研究室

Lab. of Agro-Environment Systems

連絡先

農学部研究棟 510号室

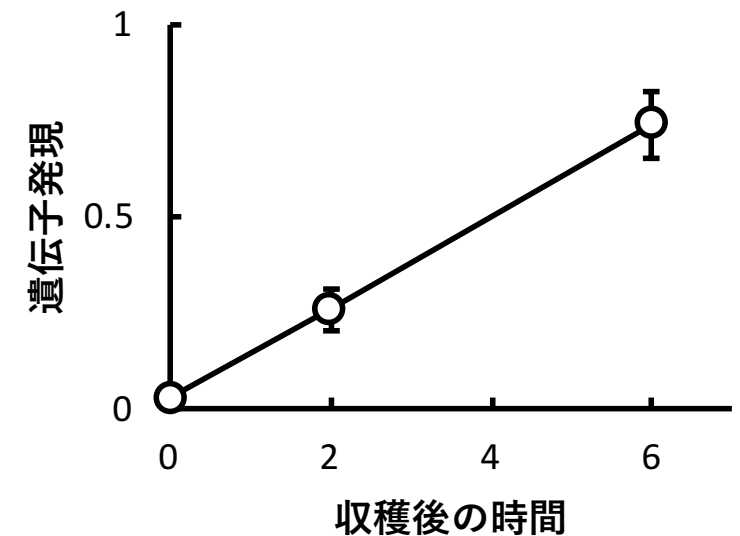
URL: <http://tazuke.agr.ibaraki.ac.jp>



研究内容キーワード: 野菜、ストレス、糖、遺伝子

研究の概要

植物は様々なストレスのもとで糖欠乏になります。キュウリなどのウリ科は果実の成長が急速なので、糖欠乏になりやすく、流れ果などにも糖欠乏が関係している可能性があります。組織の糖分析を行っても、植物細胞は糖を多く含む液胞があるので、細胞質の糖欠乏がわかりにくい場合が多いです。そこで、糖欠乏で誘導される遺伝子を探しています。これまでに見つかった*CsSEF1*という遺伝子は、糖欠乏で遺伝子発現が100倍にも高まります。図のように果実を収穫しただけでも遺伝子発現が高まります。この遺伝子の機能はよくわかっていないので、シロイヌナズナを用いた実験系などでこの遺伝子の機能を解析しています。



主な所属学会: 園芸学会、植物生理学会